

マトリックス スイッチャ

MSW-4816B NTSC

本取扱説明書では、マトリックス スイッチャ MSW-4816B の専用ソフトの使い方について説明いたします。

専用ソフト編 目次

メニューと専用ソフトの使い分け	1	3.アラーム(ALM)	10
専用ソフトの準備	1	4.アラーム入力(A.I)	10
■ダウンロード	1	5.アラーム映像出力(A.M)	11
■インストール方法	1	6.アラーム信号出力(A.S)	11
■起動画面	1	7.日付・時刻(C.S)	12
■モデル選択	1	8.日付・時刻表示(入力側)(C.I)	12
■ファイル	1	9.日付・時刻表示(出力側)(C.O)	13
■インターフェイス	2	10.タイトル(T.S)	13
●インターフェイスの設定	3	11.タイトル表示(入力側)(T.I)	14
●RS-232C/RS-485 の設定	3	12.タイトル表示(出力側)(T.O)	14
●クライアント/サーバー	3	13.タイトル位置(T.P)	15
●TCP/IP の設定	4	14.フォントサイズ(F.S)	15
■プロトコル	5	15.タイトル位置微調整(T.A)	15
専用ソフトの操作方法	7	16.パスワード(P.S)	16
■状態	7	17.映像出力(O.E)	16
■設定	8	18.全項目の設定	16
1.画面表示パターン(O.P)	8	19.外字登録	16
1-1.FREE モード	8	20.外字挿入	18
1-2.プリセット モード	9	21.機器のスレーブ アドレス	18
2.自動切換えパターン(S.P)	9	22.メンテナンス(設定項目の読み込み)	18
		必要なシステム構成	18

メニューと専用ソフトの使い分け

メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。

専用ソフトで設定した内容はメニューに反映されますが、メニューで設定した内容は専用ソフトに反映されません。

設定・操作が可能なものと不可のものがありますので、下表でご確認ください。

●メニューのみ可(専用ソフトでは不可)	●専用ソフトのみ可(メニューでは不可)
<ul style="list-style-type: none">・アラーム動作履歴,件数の表示・アラーム動作履歴の削除・RS-485 号機設定・シリアル通信時のデータレートなどの設定	<ul style="list-style-type: none">・タイトル入力・外字の作成,登録,挿入・プリセットのファイル保存

専用ソフトの準備

■ダウンロード

アルテックスWEBサイトより、MSW-4816B専用ソフトのZIPファイルをパソコンにダウンロードして保存します。
ZIP ファイルの中の“MSW3216B.exe”を解凍します。

※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード,保存してください。

※RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできます。

■インストール方法

“MSW3216B.exe”をパソコンのローカル ディスク内に保存します。
デスクトップにショートカット アイコンを作成しておくくと便利です。

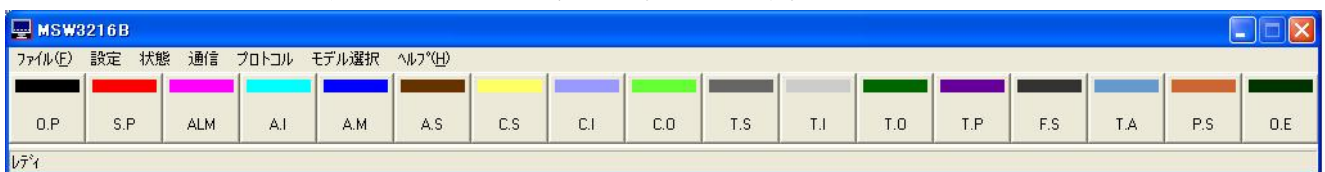


MSW3216B.exe

種類: アプリケーション

■起動画面

“MSW3216B.exe”を起動させると、下図の基本画面が表示されます。



■モデル選択

ご使用になる機種を選択してください。

専用ソフトは別機種の MSW-3216B, MSW-6416B と共通です。

本取扱説明書では、MSW-4816B を選択したときの操作方法を説明しています。



■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

●新規作成

各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。

●開く

保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。

●上書き保存

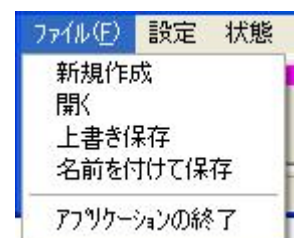
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。

●名前を付けて保存

設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は“dat”です。

●アプリケーションの終了

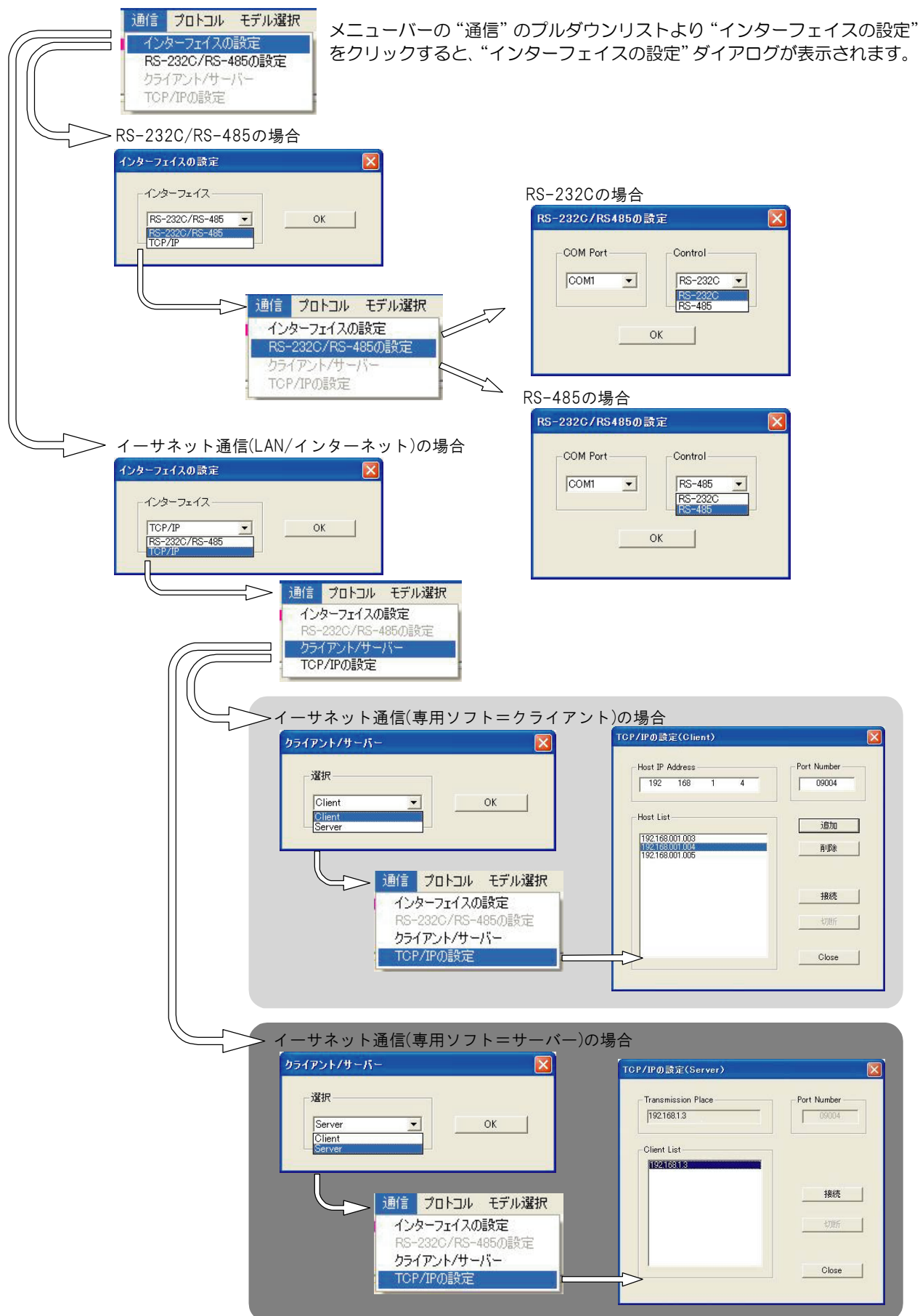
専用ソフト(アプリケーション)を終了します。



専用ソフトの準備

■ インターフェイス

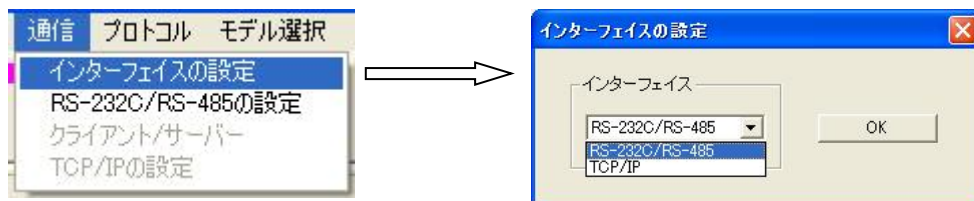
専用ソフトと MSW-4816B で送受信するとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。
(MSW-4816B 取扱説明書(本編) 6 ページ **システムの種類** 参照)



専用ソフトの準備

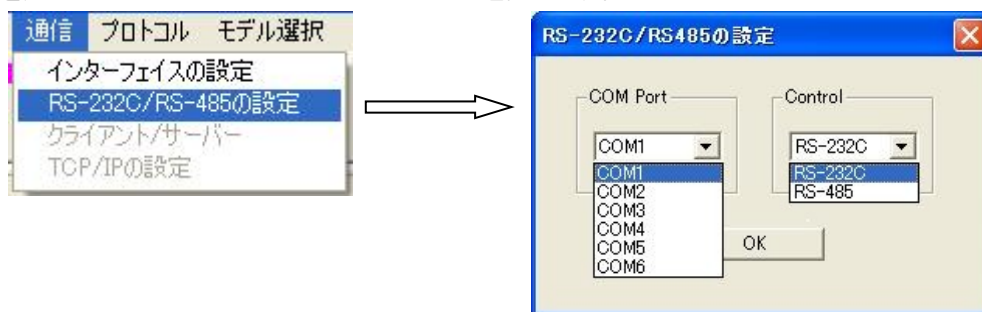
●インターフェイスの設定

通信方式を RS-232C/RS-485 または TCP/IP から選択します。



●RS-232C/RS-485 の設定

通信方式を RS-232C または RS-485 から選択します。



◆COM Port

使用するパソコンの Port に合わせてください。COM1 が特に使用されていないければ、通常は COM1 を使用してください。

◆Control

RS-232C または RS-485 を選択してください。

※RS-232C を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が無効になります。

※RS-485 を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が有効になりますので、設定および操作する号機をリストより選択してから設定してください。

“スレーブアドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると各号機に一齐送信となります。

注意 ●カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一齐送信ができません。
●一齐送信時はアンサーバックがありません。

●クライアント/サーバー

通信方式を TCP/IP(イーサネット)としたとき、専用ソフトのパソコンをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

注意 ●通信方式を TCP/IP(イーサネット)とするときは、この設定の前にあらかじめ通信先の MSW-4816B のアドレス等をプロトコルで設定しておきます。(5 ページ ■プロトコル 参照)



値	動作	備考
Client	パソコンをクライアントとして使用	サーバー (MSW-4816B 本体) に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	パソコンをサーバーとして使用	クライアント (MSW-4816B 本体) からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

専用ソフトの準備

●TCP/IP の設定

通信方式を TCP/IP としたとき、通信先の MSW-4816B のアドレスなどを設定します。

通信先の MSW-4816B のアドレス等はあらかじめプロトコルで設定しておきます。(次ページ ■プロトコル 参照)

クライアント/サーバーの設定により設定ダイアログが異なります。



◆TCP/IP の設定(Client)

- ①接続したい MSW-4816B 本体にあらかじめ設定したポート番号を“Port Number”に入力します。

(6 ページ ◆Port Number 参照)

- ②各 MSW-4816B の IP アドレスを“Host IP Address”に入力して“追加”をクリックすると、“Host List”に表示されます。

(5 ページ ◆IP Address 参照)

- ③“Host List”から接続したい MSW-4816B の IP アドレスをダブルクリックすると“Host IP Address”に表示されますので、“接続”ボタンをクリックして接続してください。

- ④“Close”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。

※他の MSW-4816B と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の設定をしてください。



◆TCP/IP の設定(Server)

※“Port Number”は“09004”で固定です。

(6 ページ ◆Port Number 参照)

- ①“接続”ボタンをクリックしてリスン状態で待つと、“Client List”に各 MSW-4816B の IP アドレスが表示されます。

(5 ページ ◆IP Address 参照)

- ②接続したいアドレスをダブルクリックすると“Transmission place”に表示され決定します。

- ③“Close”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。

※他の MSW-4816B と接続する場合は、“切断”をクリックしてから①②の操作をしてください。



専用ソフトの準備

■ プロトコル

イーサネット経由で使用する場合 MSW-4816B 本体の IP アドレス等を設定します。

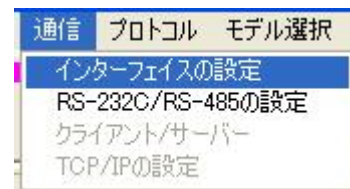
プロトコルの設定時は専用ソフトのパソコンと MSW-4816B 本体を RS-232C 経由で接続してください。

MSW-4816B ごとに RS-232C 経由で接続して設定してください。

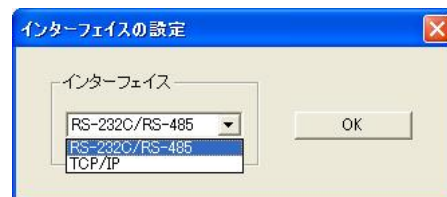
MSW-4816B 本体のメニューで設定することもできます。

(MSW-4816B 取扱説明書(本編) 27～28 ページ 10.ETHERNET 参照)

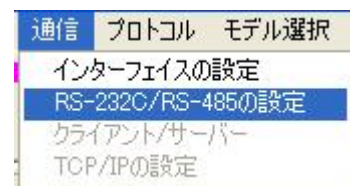
- ①メニューバー“通信”のプルダウン リストから
“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。



- ②インターフェイスの設定ダイアログで“RS-232C/RS-485”を選択して、“OK” ボタンをクリックします。



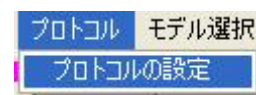
- ③メニューバー“通信”のプルダウン リストから“RS-232C/RS-485 の設定”を選択してクリックします。



- ④RS-232C/RS-485 の設定ダイアログで“Control”に“RS-232C”を選択して“OK” ボタンをクリックします。(“COM Port”は必要に応じて変更してください。)



- ⑤メニューバーの“プロトコル”をクリックし、さらに“プロトコルの設定”をクリックすると、“プロトコルの設定”ダイアログが表示されます。



各項目の“設定” ボタンをクリックすると、設定が本体に送信されます。

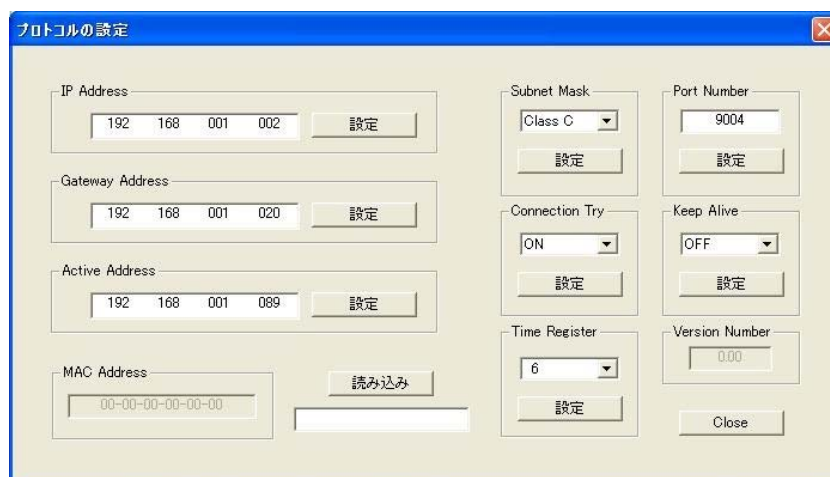
◆ IP Address

MSW-4816B 本体に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

◆ Gateway Address

- MSW-4816B 本体をクライアントとして使用する場合には、属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。

- MSW-4816B 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。



専用ソフトの準備

◆Active Address

- MSW-4816B 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
- MSW-4816B 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

◆Subnet Mask

サブネット マスクを選択します。ほとんどの場合、工場出荷時の“Class C”のままご使用いただけます。

◆Port Number

MSW-4816B 各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて入力します。

※ “Connection Try” を ON(クライアント)にしたときは、09004 としてください。

◆Connection Try

MSW-4816B 本体のクライアント/サーバーを設定します。

値	設定	備考
ON	クライアントとして使用	サーバーに対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
OFF	サーバーとして使用	クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機する

◆Keep Alive

通信障害を回避するため、接続を時間ごとに知らせる機能の有効/無効を設定します。通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフ コネクション等によるものです。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

◆Time Register

“Keep Alive” が ON のとき、接続を知らせる時間を設定します。

値	時間
1	1(分)
2	2(分)
3	5(分)
4	10(分)
5	20(分)
6	50(分)

◆読み込み

MSW-4816B の “MAC Address” と “Version Number” を確認できます。

“MAC Address” は本体底面に貼付の MAC アドレス ラベルと一致します。

“Version Number” は本体に組み込まれたファームウェアのバージョンです。機器メンテナンスのときに確認する場合があります。

⑥ “Close” ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

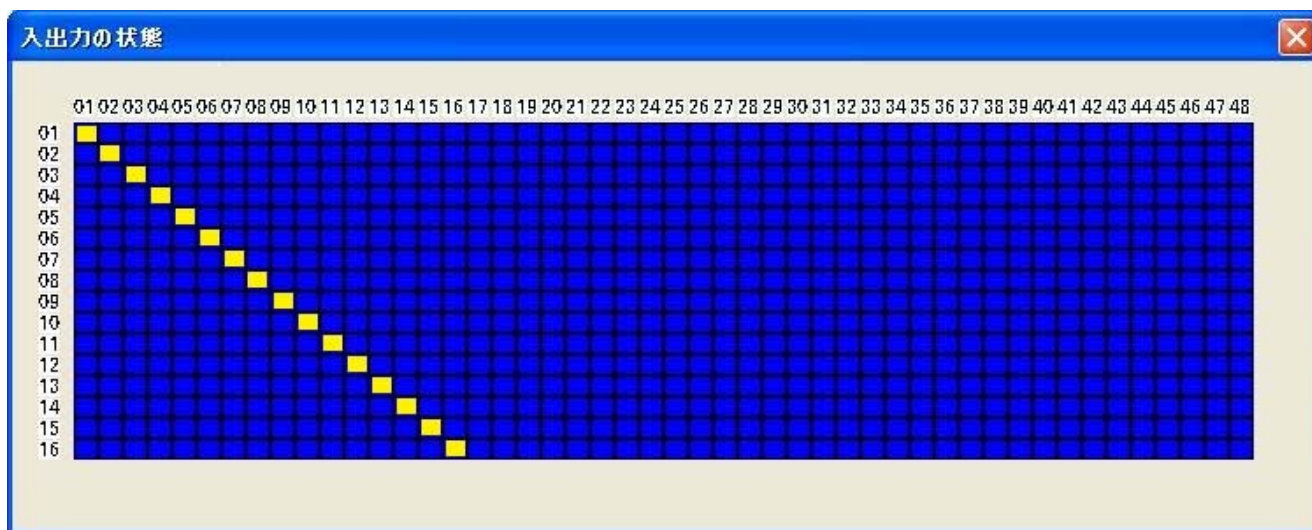
専用ソフトの操作方法

■状態

カメラ入力 01～48 と映像出力 01～16 の割り当てを確認できます。

- 注意**
- RS-485 使用時は、通信先の号機の MSW-4816B とあらかじめ接続してください。
(18 ページ 21.機器のスレーブ アドレス 参照)
 - イーサネット使用時は、通信先の IP アドレスの MSW-4816B とあらかじめ接続してください。
(2 ページ ■インターフェイス 参照)

メニューバーの“状態”をクリックし、さらに“入出力の状態”をクリックすると“入出力の状態”が表示されます。



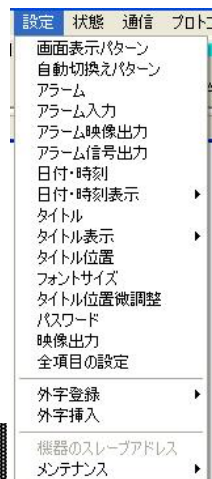
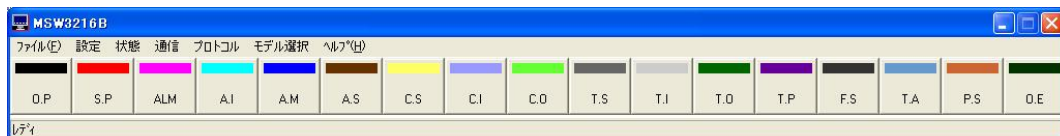
タテ軸が映像出力 01～16、ヨコ軸がカメラ入力 01～48 です。点灯しているところが現在の割り当て状態です。黄色が横に移動しているときは、その映像出力が自動切換え(オート シーケンス)表示している場合です。

- 注意**
- エラー メッセージが表示される場合は、“OK” ボタンをクリックすると“入出力の状態”が閉じます。専用ソフトから本体にコマンド信号を送り、返されるアンサーにより入出力の状態を表示していますので、次の点をご確認ください。
 - 本体の電源スイッチが ON になっているか
 - 正しく接続されているか

専用ソフトの操作方法

■設定

メニューバー“設定”のプルダウン リストから設定したい項目をクリックするとシートが表示されます。起動画面の17個のボタンは、プルダウン リストと同じ機能の設定項目です。



●転送・保存

各シートで値を変更したら“〇〇設定”をクリックすると値がMSW-4816B 本体に転送・保存されます。

転送・保存されるとMSW-4816B 本体に記憶され、電源を切っても保存されます。

各シートの設定内容を一括で本体に転送・保存するには、“全項目の設定”をおこないます。

- 注意
- “〇〇設定”をクリックせずに“Close”などでシートを閉じた場合は転送されません。
 - メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。メニューを終了してから設定してください。
 - ケーブルの結線ミスまたは本体の電源が立ち上がっていない状態で専用ソフトを操作した場合、タイムアウト エラーを検知しエラー メッセージを表示します。

1.画面表示パターン(O.P)

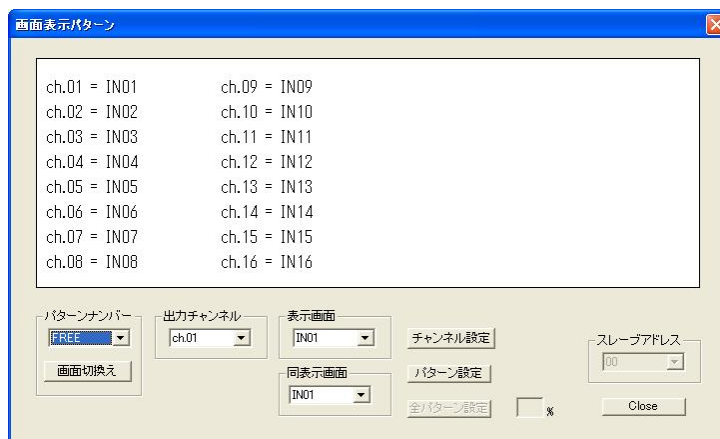
“パターンナンバー”の値は用途によってモードを使い分けます。

モード	値	用途
1-1.FREE モード	FREE	映像出力:カメラ入力を随時設定して、即、画面に表示させたいとき 前面部ボタンでの映像出力:カメラ入力の割り当てと同じ操作を専用ソフトでおこなうとき
1-2. プリセット モード	OPO1～ OP64	映像出力:カメラ入力を画面表示パターンとしてプリセットするとき プリセットしたパターンを画面に表示させるとき

1-1.FREE モード

画面表示を即、切換えます。

- ① “パターンナンバー”にFREE を選択して“画面切換え” ボタンをクリックして、本体をFREE モードにします。



- ② “出力チャンネル” ch.01～16 を選択し“表示画面”にIN01～48 またはSP01～64 を割り当てます。
“同表示画面”は“出力チャンネル” ch.01～16 をすべて同じ表示にします。

値	映像出力状態
IN01～IN48	カメラ入力 01～48 の固定出力
SP01～SP64	プリセットされた自動切換えパターン 01～64 の出力 (次ページ 2.自動切換えパターン(S.P) 参照)

- ③ “チャンネル設定” ボタンをクリックすると、選択中の“出力チャンネル”だけの設定が本体に送信され画面が切り替わります。
“パターン設定” ボタンをクリックすると、すべての“出力チャンネル”の設定が本体に送信され各画面が切り替わります。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、“OK”をクリックしてください。

専用ソフトの操作方法

1-2.プリセット モード

画面表示パターンをプリセットします。

- ① “パターンナンバー” に OPO1～64 の作成したいパターン番号を設定します。

- ② “出力チャンネル” ch.01～16 を選択し “表示画面” に IN01～48 または SPO1～64 を割り当てます。
“同表示画面” は “出力チャンネル” ch.01～16 をすべて同じ表示にします。

値	映像出力状態
IN01～IN48	カメラ入力 01～48 の固定出力
SPO1～SP64	プリセットされた自動切換えパターン 01～64 の出力 (2.自動切換えパターン(S.P) 参照)

- ③ “チャンネル設定” ボタンをクリックすると、選択中の “出力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。
“パターン設定” ボタンをクリックすると、選択中の “パターンナンバー” のすべての “出力チャンネル” の設定が本体に送信されます。
“全パターン設定” ボタンをクリックすると、“パターンナンバー” OPO1～64 すべての設定が本体に送信されます。
“画面切換え” ボタンをクリックすると、選択中の “パターンナンバー” の設定が本体に送信され画面が切換わります。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

2.自動切換えパターン(S.P)

自動切換えパターンをプリセットします。

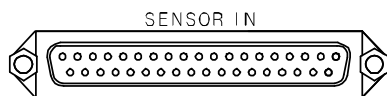
- ① “パターンナンバー” に SPO1～64 の作成したいパターン番号を設定します。
- ② “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し “時間(秒)” 00～99(秒)を設定します。
00(秒)はカメラ入力をスキップします。
※ “同時間(秒)” は “入力チャンネル” ch.01～48 をすべて同じ時間設定にします。

- ③ “チャンネル設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの時間設定が本体に送信されます。
“パターン設定” ボタンをクリックすると、選択中の “パターンナンバー” のすべての “入力チャンネル” の時間設定が本体に送信されます。
“全パターン設定” ボタンをクリックすると、“パターンナンバー” SPO1～64 すべての時間設定が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

専用ソフトの操作方法

3. アラーム(ALM)

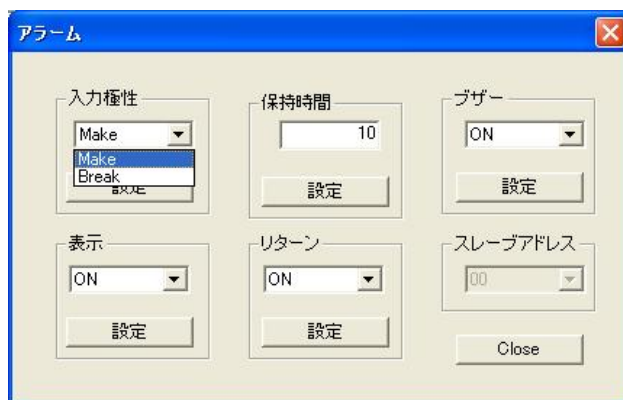
背面部の SENSOR IN コネクターおよびアラーム動作を設定します。
各項目の“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。



◆入力極性

センサー信号入力の検出接点を設定します。

値	表 示
Make	センサー等が閉じたとき検出する ノーマル オープン
Break	センサー等が開いたとき検出する ノーマル クローズ



◆保持時間

センサー信号入力時に、アラーム動作を保持時間する時間を設定します。01～99(秒)の間で設定します。

◆ブザー

アラーム動作中、ブザーON/OFF を設定します。

値	表 示
ON	ブザーを鳴らす
OFF	ブザーを鳴らさない

◆表示

アラーム動作中、アラーム動作画面左下への“ALARM”の表示/非表示を設定します。

値	表 示
ON	画面左下に“ALARM”を表示する
OFF	画面左下に“ALARM”を表示しない

◆リターン

アラーム動作終了後の映像を設定します。

値	表 示
ON	アラーム動作前の映像表示に戻る
OFF	アラーム動作中の映像表示のまま

4. アラーム入力(A.I)

センサー信号入力(コネクター番号)に
カメラ入力(入力チャンネル)を割り当てます。

- ① “コネクター番号” no.01～32 を選択し、
それぞれに“入力チャンネル” ch.01～48
を設定します。
※ “同入力チャンネル” は “コネクター番号”
no.01～48 をすべて同じカメラ入
力にします。

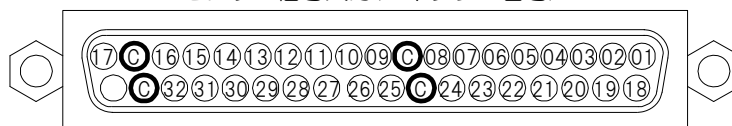
- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の
“コネクター番号” だけの設定が本体に送
信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“コネ
クター番号” no.01～48 すべての設定が
本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアン
サーが返ってきますので、“OK” をクリ
ックしてください。



センサー信号入力(コネクター番号)



※C : COMMON

専用ソフトの操作方法

5. アラーム映像出力(A.M)

アラーム動作中の映像出力 1～4 の表示をそれぞれ設定します。

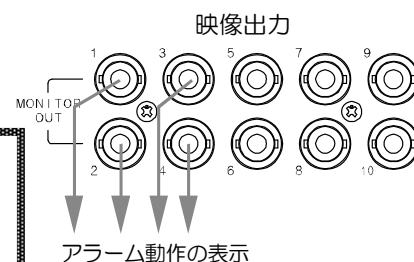
- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれに “出力チャンネル” 1～4 の ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	アラーム動作を表示する
OFF	アラーム動作を表示しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。



- 注意**
- “入力チャンネル” ch.01～48 は 4.アラーム入力(A.I)で割り当てられたカメラ入力です。センサー信号入力(コネクター番号)ではないのでご注意ください。
 - 設定したいカメラ入力が、4.アラーム入力(A.I)で、センサー信号入力(コネクター番号)に割り当てられていない場合は、5.アラーム映像出力(A.M)で ON になっていても、アラーム動作を表示しません。

6. アラーム信号出力(A.S)

アラーム動作中のセンサー信号出力 1～6 の出力をそれぞれ設定します。

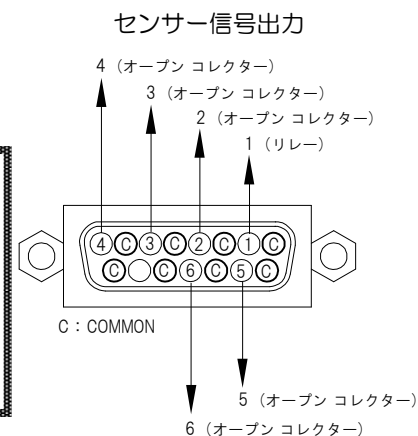
- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれに “出力チャンネル” 1～6 の ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	センサー信号出力する
OFF	センサー信号出力しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。



- 注意**
- “入力チャンネル” ch.01～48 は 4.アラーム入力(A.I)で割り当てられたカメラ入力です。センサー信号入力(コネクター番号)ではないのでご注意ください。
 - 設定したいカメラ入力が、4.アラーム入力(A.I)で、センサー信号入力(コネクター番号)に割り当てられていない場合は、6.アラーム信号出力(A.S)で ON になっていても、センサー信号出力しません。

センサー信号出力の種類

センサー信号出力	動作
1	リレー DC24V 500mA 以下 メイク接点
2～6	オープン コレクター DC12V 100mA 以下 メイク接点

専用ソフトの操作方法

7.日付・時刻(C.S)

画面に表示する日付,時刻を設定します。
各項目の“設定”ボタンをクリックすると、設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、“OK”をクリックしてください。

※全カメラ入力および全映像出力に共通の設定です。

※表示位置はタイトルが下部(BOTTOM)の場合は日時を上部へ表示し、タイトルが上部(TOP)の場合は日時を下部へ表示します。

(15 ページ 13.タイトル位置(T.P) 参照)

◆日時の調整

日付,時刻を設定します。

年/月/日/時/分/秒にそれぞれ数値を選択して、それぞれの“設定”ボタンをクリックします。

◆表示範囲

日時の表示範囲を設定します。

値	表示例
年~秒	2016. 07. 24 14:55:36
年~分	2016. 07. 24 14:55
年~日	2016. 07. 24
月~秒	07. 24 14:55:36
月~分	07. 24 14:55
月~日	07. 24
時~秒	14:55:36
時~分	14:55

◆表示サイズ

日時の表示文字サイズを設定します。

値	動作
ノーマル	標準文字サイズ
スモール	小さい文字サイズ

◆30 秒補正

時刻の30秒補正をおこないます。

“設定”ボタンをクリックすると、画面の秒の値が00になります。

※秒の値が30~59のときは、1分進んで00秒になります。

8.日付・時刻表示(入力側)(C.I)

カメラ入力01~48への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

① “入力チャンネル” ch.01~48を選択し、それぞれに“表示”ON/OFFを設定します。

※ “同表示”は“入力チャンネル”ch.01~48をすべて同じ値にします。

値	表示
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

② “設定”ボタンをクリックすると、選択中の“入力チャンネル”だけの設定が本体に送信されます。

“全設定”ボタンをクリックすると、“入力チャンネル”ch.01~48すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、“OK”をクリックしてください。

注意 ● “入力チャンネル”がONになっていても、それを表示する“出力チャンネル”がOFFになっていると、日時は表示されません。(次ページ 9.日付・時刻表示(出力側)(C.O) 参照)

専用ソフトの操作方法

9.日付・時刻表示(出力側)(C.O)

映像出力 01～16 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ① “出力チャンネル” ch.01～16 を選択し、それぞれに“表示”ON/OFF を設定します。
※ “同表示” は“出力チャンネル” ch.01～16 をすべて同じ値にします。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の“出力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“出力チャンネル” ch.01～16 すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

注意 ● “出力チャンネル” が ON になっていても、割り当てられた “入力チャンネル” が OFF になっていると、日時は表示されません。(前ページ 8.日付・時刻表示(入力側)(C.I) 参照)

10.タイトル(T.S)

タイトルを入力します。

- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれ “タイトル” の入力エリアに入力します。

※最大 28 文字まで入力できます。

※JIS 第一,第二水準+拡張文字の 7,324 文字を使用できます。

注意 ● 半角英数および半角カタカナは使用できません。
● スペースも全角を使用してください。
● タイトルの入力専用ソフトのみ可能です。本体メニューでは入力できません。
● フォント サイズにより画面に表示できる文字数が変わります。
(15 ページ 14.フォントサイズ(F.S) 参照)

フォント サイズ	表示文字数
46×46	14 文字
30×30	21 文字
22×22	28 文字

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。
“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。
※

専用ソフトの操作方法

11.タイトル表示(入力側)(T.I)

カメラ入力 01～48 へのタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれに “表示” ON/OFF を設定します。

※ “同表示” は “入力チャンネル” ch.01～48 をすべて同じ値にします。

値	表示
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

タイトル表示 (入力側)

ch.01 = ON	ch.09 = ON	ch.17 = ON	ch.25 = ON
ch.02 = ON	ch.10 = ON	ch.18 = ON	ch.26 = ON
ch.03 = ON	ch.11 = ON	ch.19 = ON	ch.27 = ON
ch.04 = ON	ch.12 = ON	ch.20 = ON	ch.28 = ON
ch.05 = ON	ch.13 = ON	ch.21 = ON	ch.29 = ON
ch.06 = ON	ch.14 = ON	ch.22 = ON	ch.30 = ON
ch.07 = ON	ch.15 = ON	ch.23 = ON	ch.31 = ON
ch.08 = OFF	ch.16 = ON	ch.24 = ON	ch.32 = ON

入力チャンネル: ch.08 表示: OFF 同表示: ON 設定 スレーブアドレス: 00 全設定 Close

注意 ● “入力チャンネル” が ON になっていても、それを表示する “出力チャンネル” が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(12.タイトル表示(出力側)(T.O) 参照)

12.タイトル表示(出力側)(T.O)

映像出力 01～16 へのタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ① “出力チャンネル” ch.01～16 を選択し、それぞれに “表示” ON/OFF を設定します。

※ “同表示” は “出力チャンネル” ch.01～16 をすべて同じ値にします。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “出力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“出力チャンネル” ch.01～16 すべての設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

タイトル表示 (出力側)

ch.01 = ON	ch.09 = ON
ch.02 = ON	ch.10 = ON
ch.03 = ON	ch.11 = ON
ch.04 = ON	ch.12 = ON
ch.05 = ON	ch.13 = ON
ch.06 = ON	ch.14 = ON
ch.07 = ON	ch.15 = ON
ch.08 = ON	ch.16 = ON

出力チャンネル: ch.16 表示: ON 同表示: ON 設定 スレーブアドレス: 00 全設定 Close

注意 ● “出力チャンネル” が ON になっていても、割り当てられた “入力チャンネル” が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(11.タイトル表示(入力側)(T.I) 参照)

専用ソフトの操作方法

13.タイトル位置(T.P)

カメラ入力 01～48 のタイトルの表示位置をそれぞれ設定します。

- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれ “表示位置” でタイトル位置を設定します。

※ “同表示位置” は “入力チャンネル” ch.01～48 をすべて同じ位置にします。

※ 日時はタイトルの反対側に表示します。

値	動作
BOTTOM	画面下部に表示する
TOP	画面上部に表示する

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。
“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。
※ 正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

14.フォントサイズ(F.S)

タイトルの表示文字サイズを設定します。

- ① “入力チャンネル” ch.01～48 を選択し、それぞれ “表示サイズ” でフォントサイズを設定します。

※ “同表示サイズ” は “入力チャンネル” ch.01～48 をすべて同じサイズにします。

値	サイズ	表示文字数
LARGE	46×46	14 文字
MEDIUM	30×30	21 文字
SMALL	22×22	28 文字

- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の “入力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。
“全設定” ボタンをクリックすると、“入力チャンネル” ch.01～48 すべての設定が本体に送信されます。
※ 正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

15.タイトル位置微調整(T.A)

タイトル表示位置を微調整します。

各項目の “設定” ボタンをクリックすると、設定が本体に送信されます。

※ 正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

※ 全カメラ入力および全映像出力に共通の設定です。

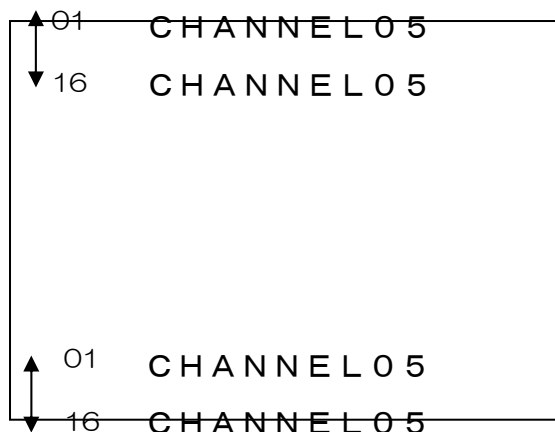
注意 ● 日付・時刻の表示位置は微調整できません。

◆上表示オフセット

TOP のタイトル表示位置を微調整します。
数値 01～16 を選択します。

◆下表示オフセット

BOTTOM のタイトル表示位置を微調整します。
数値 01～16 を選択します。



専用ソフトの操作方法

16.パスワード(P.S)

前面部ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作のロック ON/OFF およびパスワード番号を設定します。各項目の“設定” ボタンをクリックすると、設定が本体に送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。

※操作中のパスワードの入力方法は、MSW-4816B 取扱説明書(本編) 14 ページ ■パスワードによるロックをご参照ください。

◆ナンバー

パスワード番号を設定します。6 ケタの数字で、000000～999999 の範囲で設定できます。

◆ボタン操作時

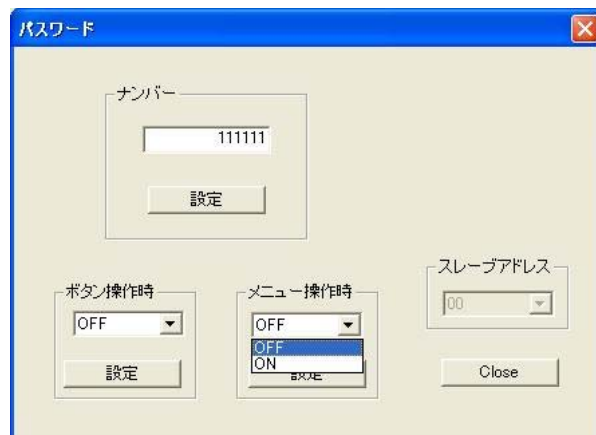
前面部ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

◆メニュー操作時

MENU ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要



17.映像出力(O.E)

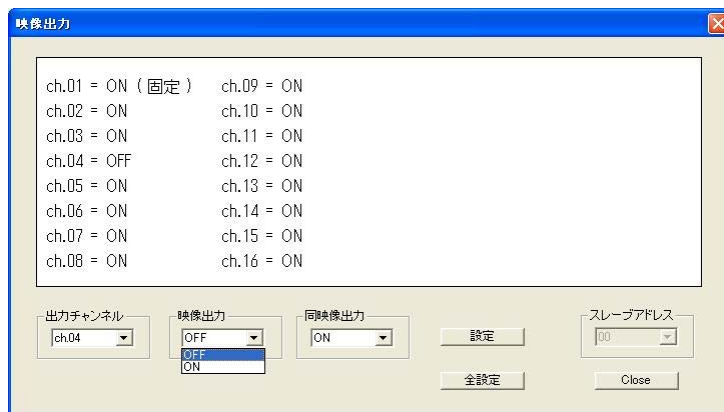
映像出力 02～16 の有効/無効を設定します。
※映像出力 01 は常に有効です。

- ① “出力チャンネル” ch.02～16 を選択し、それぞれに“映像出力” ON/OFF を設定します。
※“同映像出力”は“出力チャンネル” ch.02～16 をすべて同じ設定にします。

値	動作
ON	映像出力を有効に設定する
OFF	映像出力を無効に設定する

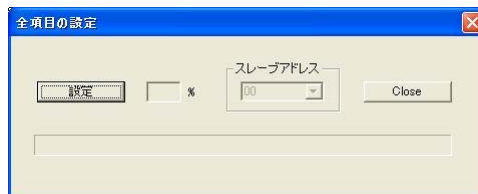
- ② “設定” ボタンをクリックすると、選択中の“出力チャンネル” だけの設定が本体に送信されます。

“全設定” ボタンをクリックすると、“出力チャンネル” ch.02～16 すべての設定が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、“OK” をクリックしてください。



18.全項目の設定

“設定” ボタンをクリックすると、各設定内容を一括で送信します。送信には時間がかかります。



タイトル表示
タイトル位置
フォントサイズ
タイトル位置微調整
パスワード
映像出力
全項目の設定

外字登録
外字挿入

19.外字登録

JIS 第一、第二水準＋拡張文字の 7,324 文字以外の文字を作成して登録することができます。

フォント サイズごとに下表のとおり作成・登録することができます。

	ドット	登録番号	挿入位置
外字登録(LARGE)	46×46	001～070	01～14
外字登録(MEDIUM)	30×30	001～160	01～21
外字登録(SMALL)	22×22	001～256	01～28

フォントサイズ
タイトル位置微調整
パスワード
映像出力
全項目の設定

外字登録
外字挿入

機器のスレプアドレス
メンテナンス

LARGE
MEDIUM
SMALL

注意 ●外字の作成・登録は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。

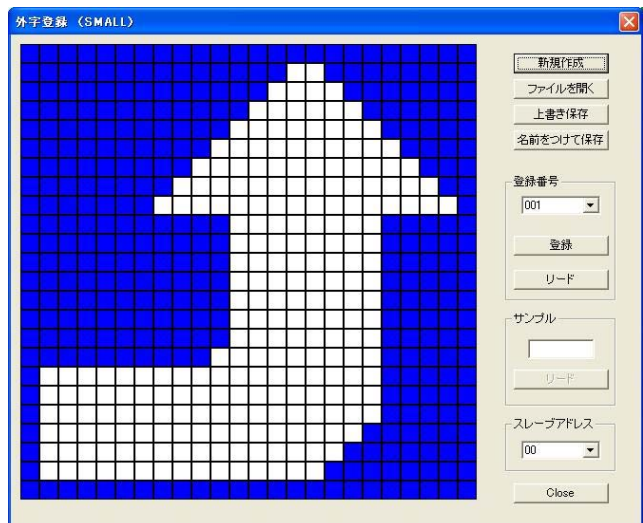
専用ソフトの操作方法

●外字の作成,登録の手順

①登録番号を選択します。

②編集エリアに外字を描きます。
マウスを左クリックすると白塗りし、右クリックすると塗りを消去します。
1列の線はモニターに表示されにくいので、できるだけ3列以上の塗りで線を描くようにしてください。
一番外側の枠は塗ることはできません。

③“登録”ボタンをクリックすると外字が本体に転送・保存されます。
LARGE/MEDIUM/SMALLと登録番号と外字の組み合わせを記録しておくことをお勧めします。
パソコンに保存した外字のファイルをまた開いて編集する場合は、②のときに“ファイルを開く”でファイルを開いて編集し、“上書き保存”で同じファイルに上書き保存します。
同じ登録番号で登録すると後から登録した外字が上書きされます。



④作成した外字をパソコンにファイルで保存する場合は、“名前を付けて保存”をクリックし、任意の場所に名前を付けて保存してください。外字のフォントサイズによってファイルの拡張子は変わります。(右表)

外字のフォントサイズ	拡張子
LARGE	txl
MEDIUM	txm
SMALL	txs

⑤別の登録番号と外字を登録する場合は、①～③を繰り返してください。

●サンプル,リードの使用法

マウスで直接描く前に、既存の文字を編集エリアに取り込んでから、その文字を修正できます。

◎既登録外字の読み込み

“登録番号”欄の番号を選択してすぐ下の“リード”ボタンをクリックすると、MSW-4816B 本体の指定した登録番号に登録されている外字を編集エリアに読み込みます。



◎標準文字読み込み

“サンプル”欄に全角文字(漢字・英数字・記号)を入力して、すぐ下の“リード”ボタンをクリックすると、MSW-4816B 本体から編集エリアに読み込みます。



※正常に読み込まれると、“Success”のアンサーが返ってきますので、“OK”をクリックしてください。

●登録した外字の確認方法

映像出力 1 のみ確認画面が表示されます。映像出力 1 のモニターを見ながら ENTER ボタンを 10 回連続して押します。



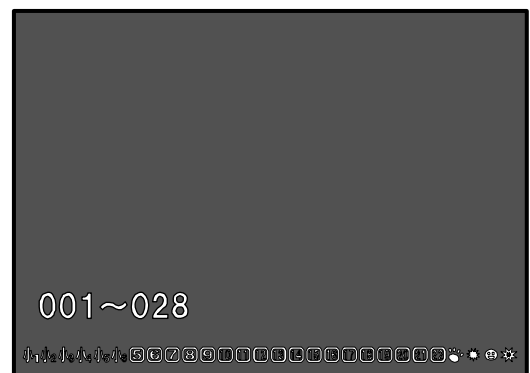
画面の下行または上行に LARGE/MEDIUM/SMALL それぞれの登録した外字が表示されます。

※確認したい外字のサイズを映像出力 1 に表示させておいてください。“フォント サイズ”で LARGE/MEDIUM/SMALL を設定しておいてください。

登録した外字は登録番号ごとに表示されます。

↵,↶ボタンで登録番号を切換えます。

確認画面を解除するときは ENTER ボタンを 10 回連続して押します。



登録番号 001～028 に登録した外字の表示例
映像出力 1 がフォント サイズ：SMALL、
タイトル位置：BOTTOM に設定されている場合

専用ソフトの操作方法

20. 外字挿入

登録した外字を挿入します。

(16 ページ 19.外字登録 参照)

外字を挿入したいページを画面に表示させておくの確認しやすくなります。

注意 ●外字挿入は専用ソフトのみ可能で、メニューではできません。



フォント サイズ(小/中/大)ごとに下表のとおり挿入することができます。

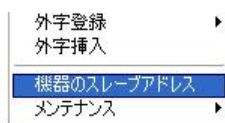
	ドット	登録番号	挿入位置
外字登録(LARGE)	46×46	001～070	01～14
外字登録(MEDIUM)	30×30	001～160	01～21
外字登録(SMALL)	22×22	001～256	01～28

- ① “入力チャンネル” に外字挿入するカメラ入力 01～48 を選択します。
- ② “フォントサイズ” LARGE/MEDIUM/SMALL を選択します。
- ③ “外字登録番号” を選択します。
- ④ “挿入位置” を選択します。挿入位置は、画面の左側から順に 01,02,03…です。
- ⑤ “設定” ボタンをクリックします。

21. 機器のスレーブ アドレス

インターフェイスで RS-485 の使用を設定したときのみ有効になります。

(3 ページ ●RS-232C/RS-485 の設定 参照)



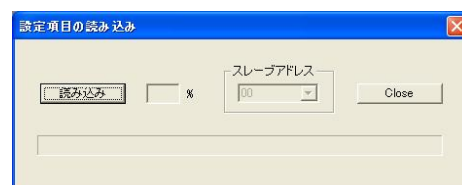
接続したい MSW-4816B の号機(00～31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“スレーブアドレス”の項目にあらかじめ号機(00～31,Broadcast)が入力された状態になります。

注意 ●Broadcast 設定時は、入出力の状態は表示できません。
●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。

22. メンテナンス(設定項目の読み込み)

読み込みボタンをクリックすると、MSW-4816B 本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。

読み込みには時間がかかります。



必要なシステム構成

専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows 8.1 日本語版, Windows 10 日本語版
- 400KB 以上の空き容量のあるハードディスク
- Ethernet ポートまたは RS-232C ポート(シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム